国内最大級の津波想定を超えて
～絶望を希望に変えた
黒潮町民の総力戦～

GREEN DESTINATIONS TOP 100 2025 STORIES

黒潮町

KUROSHIO

黒潮町観光
ネットワーク

JSTS-D

【内容】

・黒潮町の概要・観光地の説明

・サスティナビリティ―チェック(15項目)

・グットプラクティスストーリーの概要

・直面した課題

・解決策・手法・手順

・実績と成果

・ストーリーの評価

高知県黒潮町の概要

黒潮町の観光

【体験】

【スポーツ】

【砂浜美術館】

私たちの町には美術館がありません。

美しい砂浜が美術館です。

人と自然が共存し作り出す風景を文化に…

防災ツーリズム

防災ツーリズム(自然の二面性を知りつきあい方を学ぶ)

防災プログラム(脅威・災いを知る)

防災学習プログラム

地域防災実感プログラム

防災缶詰プログラム
（講話・創作料理）

佐賀地区津波避難
タワー見学

宿泊型夜間避難訓練
プログラム

自然の恵み体験(恵みを知る・感じる)

カツオの藁焼きタタキづくり

ホエールウォッチング

サーフィン体験

天日塩づくり

シーカヤック体験

他、食事など

SUSTAINABILITY SCAN
Kuroshio Town, Japan

ディスティネーション・マネジメント

- 地域資源目録
- 観光地管理の方針・戦略

自然＆景観

- 自然保護

文化・伝統

- 有形文化財
- 無形遺産

環境と気候

- 廃水処理
- 固形廃棄物
- 旅行による排出量削減
- 低環境負荷のモビリティー
- エネルギー消費量削減

ビジネスコミュニケーション

- 地元企業の支援
- 地場産品・サービス支援

社会福祉

- 人権
- 地場産品・サービス支援事業者の持続可能性の促進
- 平等で公平な雇用

- 一致
- 部分的に一致
- 不一致

グッド プラクティス ストーリーの概要

～「日本一危ない町」から「先進的な防災に取り組む町」へ～

風評被害による震災前過疎にあらがい、町と事業者と住民が連携し、自分事として対策や防災教育を推進しなければならない。

「犠牲者ゼロ・避難放棄者ゼロ」を目標に、津波避難設備などのハード事業の他、絶望からの意識改革や防災教育などのソフト事業の取り組みを重ねた。

これらは、防災は暮らしの一部に定着し、町独自の防災文化として定着。

これを新たな地域資源とし、防災ツーリズムを構築した。

県内外からの受け入れを行い、関係人口の拡大や経済波及効果をもたらし、「日本一危ない町」からプラスイメージに転換し、地域の未来を切り開く挑戦が今も続いている。

ストーリーの背景

2012年に内閣府より国内最大級34.4mの津波高が発表され、震災前過疎化の危機

住民が真剣に考え皆が連携して、町独自の目標「避難放棄者ゼロ・犠牲者ゼロ」のために防災対策を推進

町内６基の津波避難タワー完成。
行政視察が急増し本来の町の防災対策業務に支障がでるほどに…

自主防災組織「防災かかりがま士の会」発足し、案内等の担い手確保

防災ツーリズム検討会設立。
手配窓口を一元化し、周遊観光で外貨を稼ぐ仕組みづくり

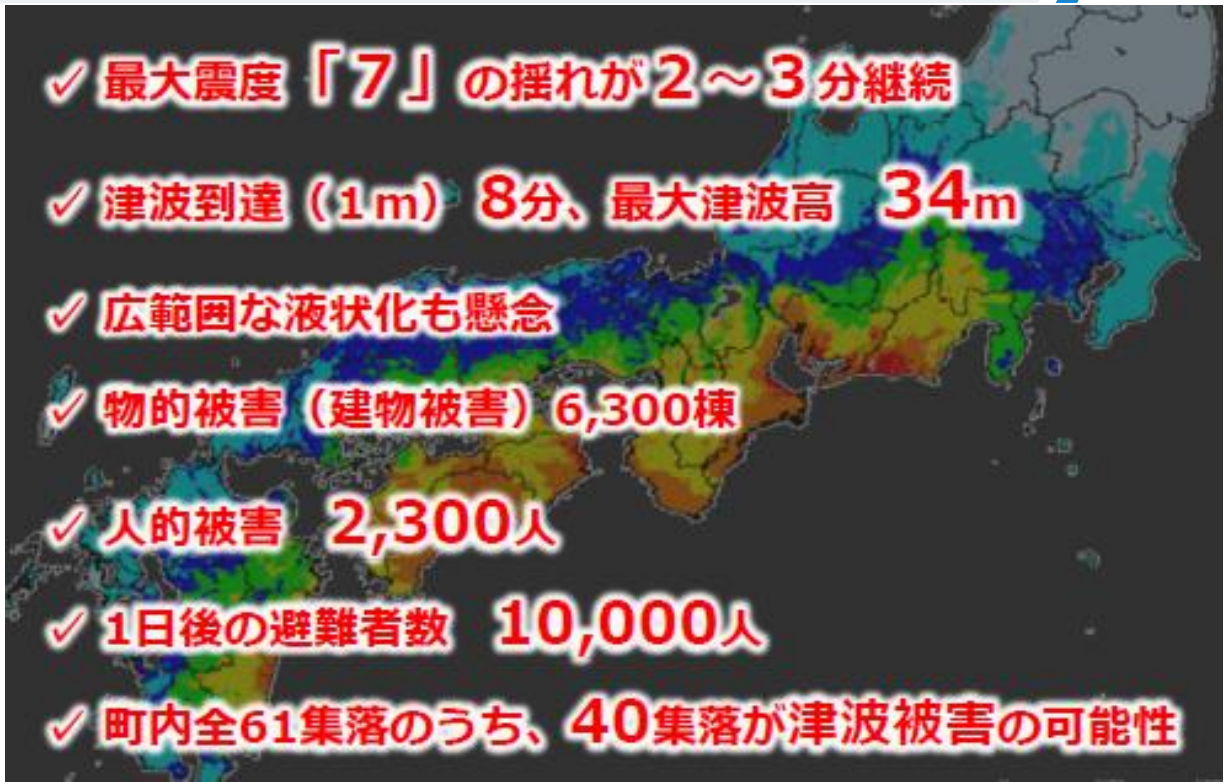
積み重ねた取り組みは黒潮町独自の防災文化へ

多様化する要望に合わせ、防災プログラムを町内関係者と連携しながら企画、造成・販売し、町内周遊観光を推進

人と自然のつきあい方を考える防災ツーリズムとして地域防災文化を観光資源化

直面した課題

～町も命もあきらめかけた絶望からの挑戦～
公表された最大クラスの南海トラフ地震の想定



解決策

～防災文化が未来を切り拓く～　町民と行政が協同

- 「犠牲者ゼロ・避難放棄者ゼロ」の目標
- 「命をあきらめない防災」という理念
- 防災文化を創造するソフト事業の強化
- 津波避難タワー建設や避難道整備などのハード整備
- 防災産業「黒潮町缶詰製作所」の設立、雇用創出
- 防災文化を町の新たな地域資源
- 多様な事業体で連携する防災ツーリズムを構築

手順・ツール

- 防災思想に基づく地域担当制の構築（2012年～）
- 防災教育プログラムの導入（2013年～）
- 食の防災産業の創出（2014年～）
- 行政の防災視察を観光資源化させる検討会を設置（2019年～）
- 防災ツーリズムの多様な事業体連携体制の構築（2019～）
- 町内周遊観光促進の強化（2020年～）

実績（意識改革につながったフィードバック例）

体験者の声

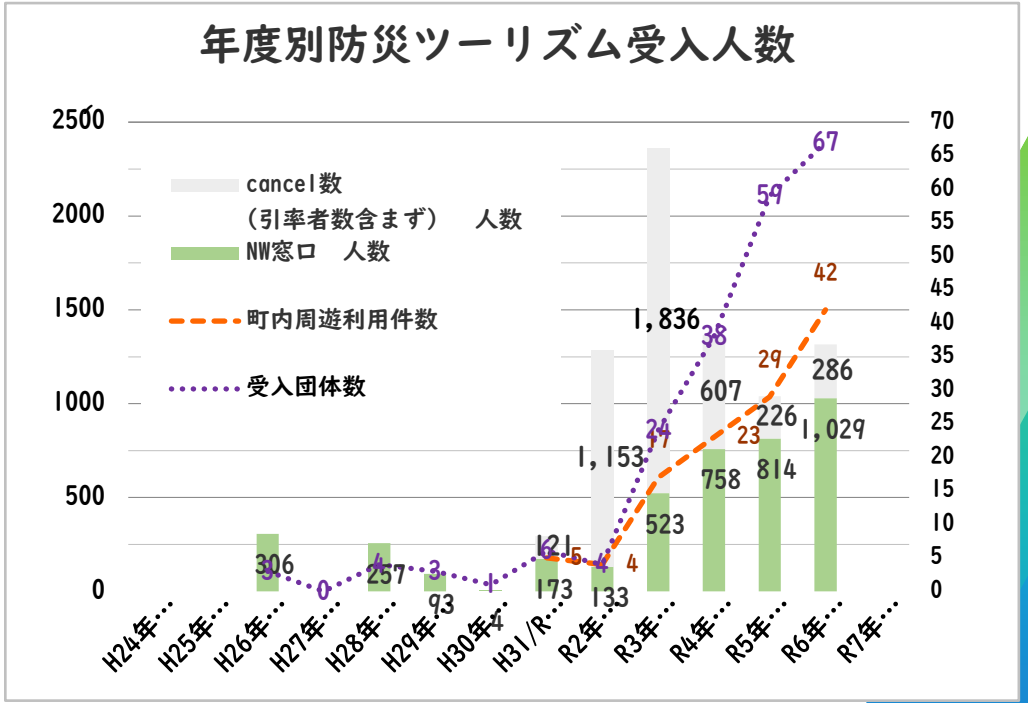
全国の防災について調べる中、「黒潮町は危険な町で行くのが嫌だ」という気持ちが最初はあったが、実際に訪れプログラムに参加し津波について正しく学んだことで、防災の取組が充実した安全で自然の魅力あふれた町だと分かった。

町内事業者の声

プログラムの受入を実施することで、施設の安全管理の見直しの必要性や課題が見え、安心・安全の提供の改善につながっている。

実績（ツーリズムとしての例）　2025年3月現在値

- 防災プログラムの多様化
- 防災プログラム実施者の多様化
- 自主防災組織の自主財源確保
- 年間参加者延数の増加
- 町外・県外からの参加割合増加
- 町内観光周遊率増加



防災ツーリズムによる好循環例

地区防災の取組事例の増加

防災ツーリズムの受入対応

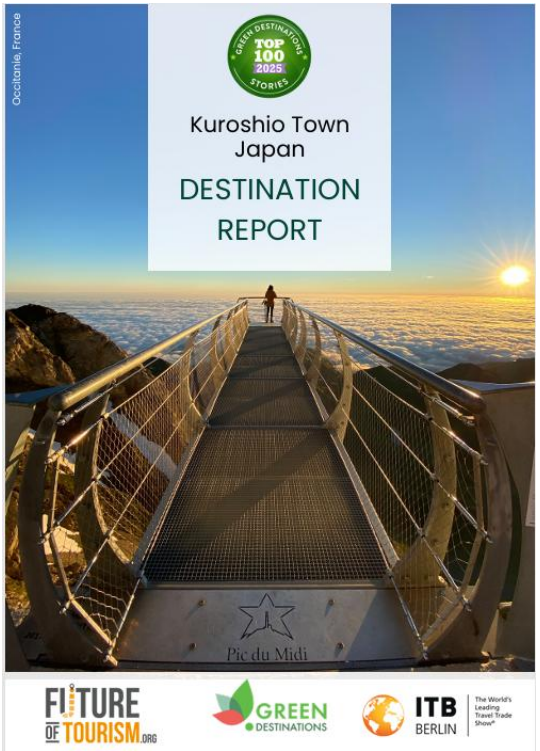
地区独自の収益の獲得

地区防災組織
『防災かかりがま士の会』

地区独自で必要な備蓄品の購入

地区防災活動の充実・避難所内の改善

グッド プラクティス ストーリーの評価



ストーリータイトル

国内最大級の津波想定を超えて
～絶望を希望に変えた黒潮町民の総力戦～

カテゴリー　活気あるコミュニテイー

評価者コメント

防災対策と観光商品開発を組み合わせた、独創的なグッドプラクティス事例です。ただ、実際の防災ツーリズム商品そのものにもっと焦点を当てても良かったかもしれません。

表彰と追加参考

- 「第1回NIPPON防災資産」において優良認定(2024年9月）https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/list.html
- 環境省と一般社団法人日本エコツーリズム協会の共催の第19回エコツーリズム大賞にて大賞を受賞（2024年2月）

  chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://ecotourism.gr.jp/wp-content/uploads/19award.pdf
- 第10回プラチナ大賞　優秀賞「次世代育成賞」（2022年10月）https://platinum-network.jp/10th_taisyou/

- 黒潮町創生基本計画第3期（2025年3月）P13～観光振興
- 黒潮町南海トラフ地震・津波防災計画の基本的な考え方(第6次）https://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/bousai-taisin/5529
- 「世界津波の日」第1回高校生サミット（2016年11月）https://www.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/summit-english/8187
- ・国土強靭化　民間の取り組み事例集（2025年4月）掲載
  https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/r7_minkan/index.html
- ・人と自然のつきあい方を考える黒潮町防災ツーリズムHP　https://kuroshio-kanko.net/bousai/en/